

No.	報告受領日	一般名	患者 性別	年 代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	受血者個別 NAT	献血者個別NAT	備考	
44	2007/8/16	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	男	60	消化器疾患	B型肝炎	07/02	HBsAg(-) HBsAb(-) (07/02)	HBsAg(+) (07/07) HBsAg(+) HBsAb(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) IgM+HBcAb(+) (07/07)	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(-) (07/02) HBsAg(+) HBsAb(-) HBV-DNA(-) (07/02)	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体16本 全部HBV- DNA(-)		※患者は、07年5月27日、肝不全 にて死亡。剖検なし。 ※患者は原疾患で死亡したが、輸血 後感染であれば死亡に対して肝臓が アシストした可能性も考えられる(担 当医の意見)。 ※本症例は、患者の死亡後に開催さ れた院内の症例検討会で、輸血7週 後の肝機能上昇(ALT:130、AST: 198)が問題となり、感染症検査にお いて、輸血約22週後にHBs抗原が 陽転していたため、感染症例として 報告されたものである。	
45	2007/8/16	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	肝・胆・膵疾患	B型肝炎	06/12	HBsAg(-) (06/12)	HBsAg(+) (07/05) IgM+HBcAb(+) (07/05)	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(-) (06/12)	陰性(輸血 前) 陽性(輸血 後)	保管検体4本全 部HBV-DNA(-)		※なお、被疑薬は、保存前白血球除 去薬剤である。 注)日本人成人のCMV抗体保有率は7 0~90%程度とされており、潜伏感染 の状態で体内にウイルスを保有して いる。	
46	2007/8/16	人赤血球濃厚液-LR	女	~ 10	出生児低体重	サイトメガロウイルス 感染	07/07	-	CMV-DNA(+) (07/08) ※母親のCMV 関連検査は未 実施。	-	-	-	保管検体1本全 部:IgM-CMV抗 体(-)、IgG- CMV抗体(+)		
47	2007/8/22 2007/9/6	人赤血球濃厚液	男	70	血液疾患	HTLV-1検査陽性	03/11- 05/03	-	HTLV-1Ab EIA法(+) (05/12) (07/07) HTLV-1Ab WB法(+) (07/07) ※その後の院 内調査調査 で、2005年検 体でもHTLV-1 Ab(+)を確認。	-	-	保管検体8本全 部、 HTLV-1抗体: PA法(-)、EIA 法(-)、IF法 (-)		※2007年8月22日の完了報告時に 調査中であった患者転帰が「未回 復」であると判明したため、2007年9 月6日に追加報告されたもの。	